

令和6年度（第1回）
病害虫発生予察調査及び水稻生育調査の結果について（通知）
【調査日 令和6年7月10日（水）】

中播磨農作物病害虫防除研究協議会

《病害調査について》

1 いもち病

葉いもちの発生が3ほ場（夢前、神河）／11ほ場で見られました。

今後もほ場を観察し発生が見られる場合は防除を実施してください。



【葉いもち】

2 他の病害

紋枯病が2ほ場で見られました。

《害虫調査について》

1 ウンカ類

10ほ場においてセジロウンカやヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイの発生が見られました。

トビイロウンカは見られませんでした。

今後もほ場を観察し、基幹防除を実施してください。



【ヒメトビウンカ】（体長約5mm）

2 カメムシ類

一部のほ場においてカメムシの発生が見られました。

今後もほ場を観察し、耕種的防除として出穂期の14日前までに畦畔を除草してください。

また、籾不稔を引き起こすイネカメムシの発生が神河町でみられました。ほ場を観察し、発生が見られる場合は、出穂期に防除を実施します。

*防除については、JA兵庫西あるいは普及センターに御相談ください。



【イネカメムシ】

（体長約10mm）

《生育調査について》

品種名	平均草丈(cm)		1株当たり平均茎数(本)	
	令和5年7月5日	令和6年7月10日	令和5年7月5日	令和6年7月10日
コシヒカリ	65	80.1	12	19.0
キヌヒカリ	53	55.4	17	18.7
きぬむすめ	36	53.5	13	20.5
兵庫夢錦	45	52.9	25	29.7

調査した全ての品種について、昨年の同時期より草丈は長く、茎数も多い。